

関西北陸ブロック 24年度関西北陸ブロック大会

概要

日程：2024年12月7日(土)13:00～17:00
場所：神戸国際展示場 2号館

参加者

【一般】

富山大(3)、富県大(4)、福井大(22)、京都大(1)、同志社(8)、立命館(29)、龍谷大(19)、京教大(19)、京工織(2)、京都橘(1)、奈良女(12)、奈良教(2)、奈良大(3)、滋賀大(5)、滋県大(7)、近畿大(9)、大経大(14)、大阪大(3)、大教大(2)、樟蔭女(2)、関学大(3)、神外大(3)、兵庫大(13)、連合会広報(1)

【運営】

富県大(1)、福井大(6)、京都大(11)、同志社(3)、立命館(2)、龍谷大(2)、京教大(4)、奈良女(3)、奈良教(3)、奈良大(6)、滋賀大(10)、滋県大(4)、近畿大(3)、大阪大(2)、大教大(4)、樟蔭女(2)、兵庫大(1)、大山乳業(2)、消費者教育タスクチーム(5)、ヨコタ東北(2)、ひょうご大学生支援機構(HUSSO)(2)、全国大学生協連奨学財団(2)、全国大学生協連学生常勤(3)、事業連合(1)、BK職員(3)、BK院生(3)

計23会員 303名



様々なアイデアに触れることができ、今後企画する意欲やアイデアが湧いた。
(兵庫県立大1年)

01 企画① 24年度をみんなで振り返る時間

ブース観覧を通して体験的に振り返ろう！

24年度のブロック大会は、合計35のブース出展がありました。会員生協の出展だけでなく、全国大学生協連奨学財団や株式会社ヨコタ東北、大山乳業など、大学生協と関わりのある団体の出展もありました。各ブースを回る中で、自分たちが今年度頑張ってきたことや、来年度はどう創りあげていくかを体験的に考えました。

02 “対話”を大切にした 環境づくり

感想交流を豊かにしよう！

今回のブロック大会では、各ブースでの対話を広げるためのアイテムとして「伝えるカード」を取り入れました。「伝えるカード」は、企画①のブース観覧の時間に、参加者の方に各出展で印象に残ったことや出展者へ伝えたいことといった感想を書いてもらいました。大会終了後、「伝えるカード」は各出展者の方に持ち帰ってもらい、感想を自大学生協でも振り返ることができるようにしました。

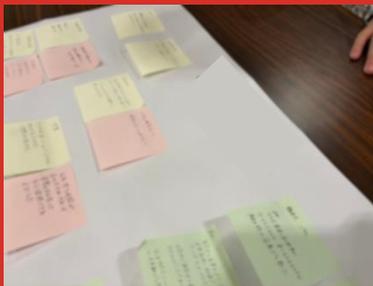


ここでの感想が、これからの活動に繋がっていくことを願っています。

03 企画② 総括と方針の時間

今年、自大学では何ができた…？

企画②では、関西北陸ブロックの大学生協が24年度に何をできたのか、25年度に何を頑張りたいのかを、24年度のブロック方針と企画①で出展いただいたブースの様子を基にお話ししました。その上で、グループワークでは自大学生協で24年度に行った取り組みによって組合員の生活がどのように変化したのかを考えました。大学生協が「組合員のよりよい生活」を目指していることを再確認できました。

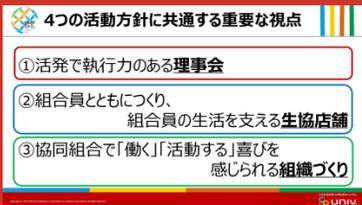


組合員の反応を含めて今年度の活動を振り返れた。
(福井大2年)

04 次年度の方向性を確認

25年度のポイントはなんだろう？

グループワークを通して24年度の現状を理解したあとは、25年度のブロック方針（草案）を確認しました。ブロック方針は、関西北陸ブロックの会員生協がそれぞれの実態に寄り添いながらも、ブロック全体で一緒に目指していく方向性です。また、4つのブロック方針に共通する重要な視点も確認しました。25年度も関西北陸ブロック一丸となり、よりよい組合員の生活を考えていきましょう。



大学生協の歩みは24年度で終わりません。25年度の新たな視点を確認しました。

05 企画③ 自大学の時間

他大学生協の事例を自大学生協に落とし込む

企画③では、企画①と企画②の振り返りをしたのちに、25年度の自大学生協の理想の姿や目標を考えました。グループワーク①で、自大学生協で取り組みたいことや頑張りたいこと、取り入れられそうだった取り組みについて取り上げ、自大学生協の理想や目標をイメージすることができました。



企画2で考えた目標を自分の中で整理し、明確なひとつの目標にすることが出来た。（龍谷大2年）

06 来年度以降に向けて

湧いてきたアイデアを言葉にしよう！

企画③のグループワーク②では、理想・目標の具体化のために、これらを達成するための手法を考え、より25年度のイメージを濃いものにしました。自大学生協の仲間と共に今後について語り合うことで、25年度の活動方針について共通の軸を持つことができました。また、他大学から得た知識を自分たちでどう活かすかを考えることができました。



自大学がどんな目標を持ってこれから活動していけばいいのか、どう繋げていけばいいのかよく分かった。（近畿大1年）

07 「24年度関西北陸ブロック大会」を通して

全体を通して

「24年度関西北陸ブロック大会」は、多くの方にご参加いただき、交流と学びの場として充実した時間となりました。特に、参加者同士が互いの工夫や課題を共有し合うことで、新たな発見や次の活動へのヒントを得られたという声が多く寄せられました。全体として、参加者からは「新たな視点を得られた」「他大学との交流が楽しかった」というポジティブな感想を多くいただきました。

本大会を通じて、多くの大学生協の活動がさらに発展し、新たな連携やアイデアの創出につながることを期待しています。引き続き、会員生協の皆様とともによりよい連帯の場を作り上げていけるよう努めてまいります。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [豊田 真由子]
Toyota.Mayuko@univ.coop